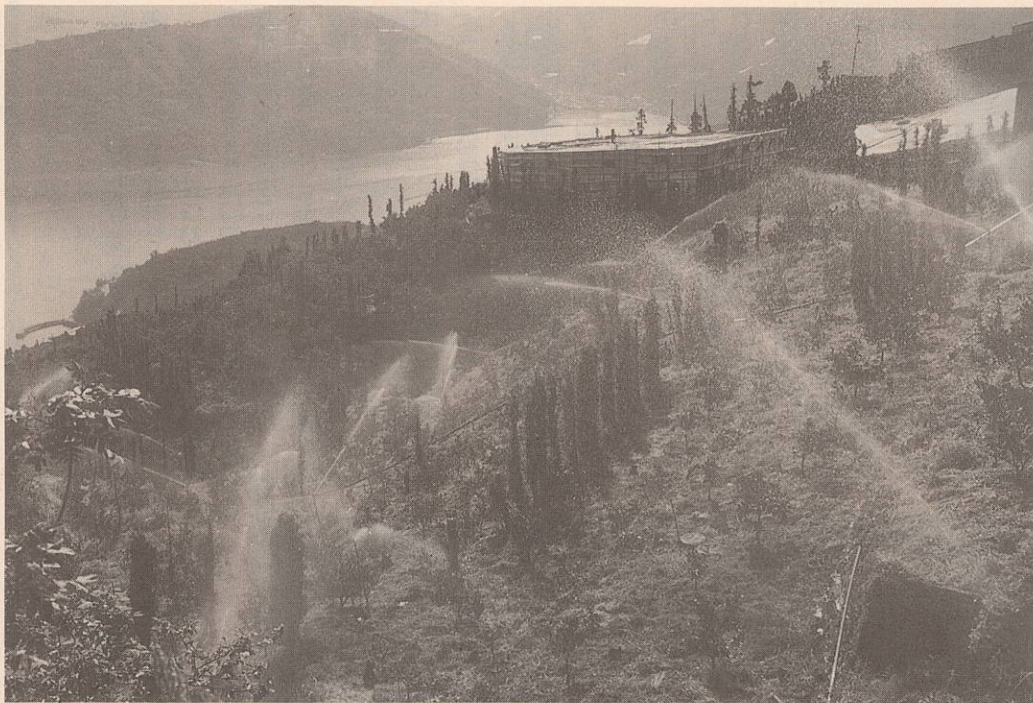


# 南予用水の受水始まる

## 農業用水・飲料水に



果樹園に勢よく飛ぶ南水

南予用水事業は、水不足に悩む南予の二市七町に農業用水と水道用水を供給するため、昭和四十九年から農林水産省と南予水道企業団との共同事業で行ってきました。

五月から、野村ダムから送水される水を使った農業散布が始まり、町上水道でも飲料水の受水を開始し各家庭に給水を始めました。

五月二日、灘第四ブロック(中之浜)では野村ダムの水を濃度の濃縮と、配水槽から送られる南水を薬液混入機を通し自動的に適量濃度に薄めて各園に送ります。

### 果樹園に待望の水

使った試験散水を行ないました。既設の水利を使った散水は実施済みの農家の方も、緊張をきたす試験となりました。

この畑地かんがい事業は、薬液混合水槽に混入した十倍濃度の濃縮と、配水槽から送られる南水を薬液混入機を通し自動的に適量濃度に薄めて各園に送ります。

園内に、専用パイプを配管してスプリンクラーを設置、制御室にて自動的に農業散布や散水を行なうものです。今までは、二人で十アール当り一時間あまりかかっていたのに、一区画(二アール)が三分程度で終わります。そのうえ、農薬を体に浴びる心配はなく一斉散布を行なうので病原菌の密度が低下し防除効果も高くなります。



発行所 伊方町 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦 796-03 伊方局38-0211 編集課 総務課 印刷所 豊 社 八幡浜市松柏 22-0144



水道週間 (6月1日~7日)

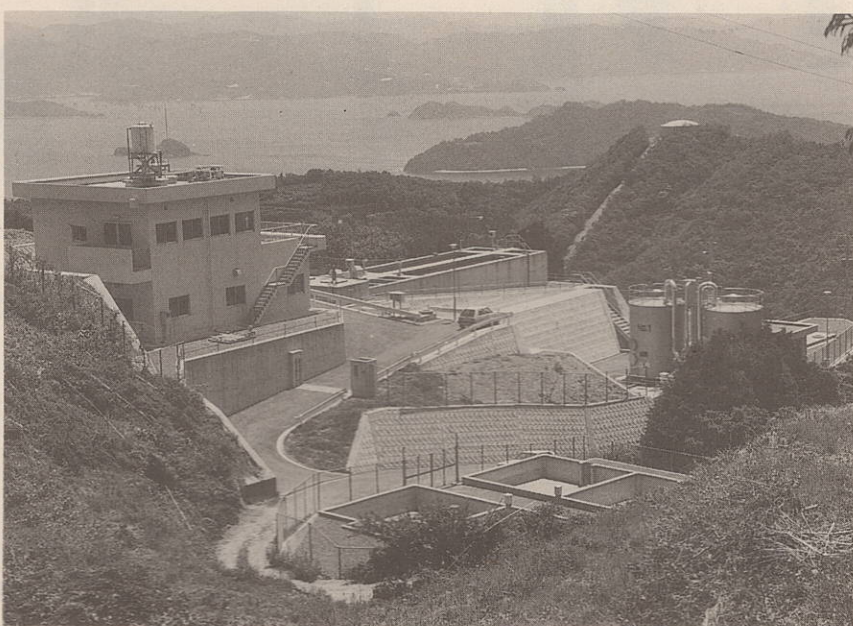
### 家庭の蛇口からも

町上水道にも五月から南水が受水開始されました。一日基本水量千九百八十m<sup>3</sup>、平均で八百m<sup>3</sup>を受水し、各家庭へ給水されます。

これは、南予水道企業団の伊方浄水場(川永田赤峰)から町の受水槽へ浄水を受け入れ、町内各所に設置されている配水池から配水されるものです。毎年、夏休みのお盆時期や年末時には、帰省客の増加で水の使用量が大幅に増加し、町の自己水源だけでは水不足のため断水を余儀なくされておりましたが、こうした心配が解消されます。

また、今まで未給水区域であった河内上・下地区(五十八戸)石見地区(十戸)等へも、新規に給水されることになり給水区域の拡大もはか

られました。町では、南予水道事業団からの受水を行なうため、昭和五十八年度から五十九年計画で第四次拡張事業を実施、水道管の布設替、受水槽・配水池の新設、電気計装設備の導入等、約十六億五千四百万円を投資し施設の拡充整備を行いました。さらに五月から受水が開始されたことにより飲料水の受水費として、年額四千万円を予算化し水を購入することにしています。



この伊方浄水場で飲料水に生まれ変わります

### 黒田氏に黄綬褒章

【町では五人目】



春の褒章で黒田市榮氏(大浜六十三歳)が黄綬褒章を受章しました。

黄綬褒章は業務に精励し国民の模範である者に贈られるもので黒田氏は農業功労者として受章しました。

昭和四十六年から四期(十六年)町土地改良区に籍を置き、うち三期は理事

を務めました。

黄綬褒章は宮崎市右衛門氏(大浜故人)、田中善吉氏(仁田之浜故人)、高門嘉夫留氏(川永田故人)、道上 正氏(仁田之浜)に次いで町では五人目です。

長。この間、南予用水土地改良区連合理事、西宇和八幡浜土地改良事業協議会監事を兼務。果樹農家の省力化とコスト低減を図るため農道整備に尽力し、長年八西地方を苦しめていた水不足解消のため南予用水受け入れに奔走されました。

### 新区長さん決まる

- 各地区と町行政のパイプ役としてお世話いたたく区長さんが決まりました。
- 今年度は次の皆さんです。よろしくお願いたします。
- また、五月十日の初会合で、区長会長に平尾龍馬さん(二見)、副会長に藤堂宏志さん(河内)が選ばれました。

(各区长名) 大浜 米田國男 中之浜 舛田和幸

(◎区長会長) (○副会長) 鳥津 道元伊勢夫 敬称略

- 仁田之浜 二宮長幸
- 河内 藤堂宏志
- 湊浦一 後藤久真雄
- 湊浦二 村田和助
- 小中浦 吉本高治
- 伊方越 門田元
- 亀浦 中田時春
- 川永田一 篠川長義
- 川永田二 菅野昭男
- 豊之浦 高石定
- 奥 城岡幸夫
- 向 浪下時雄
- 畑 三根生國泰
- 須賀 門田幾光
- 久保 脇田春雪
- 西 高口孝志
- 二見◎平尾龍馬
- 加周 小林栄喜
- 田之浦 榎尾博一
- 古屋敷 小島勲
- 大成 古田俊介
- 鳥津 道元伊勢夫

# わたしの大好きなおかあさん



「母の日」は五月の第二日曜日で、こころは五月十四日でした。

母の日は、アメリカである女性が母の追憶のため教会で友人にカーネーションを配ったのが初まりとされています。

その後、一九一三年にアメリカの大統領が五月の第二日曜日を「母の日」と決め、母に感謝の気持ちを表わすようになりました。日本でも大正時代に一部の人の間で流行するようになり戦後盛んになりました。

市内の各保育所では「お母さんありがとう」の言葉を添えて、手作りの品物や「似顔絵」などをプレゼントしました。

リボンをしているお母さん、ちよつと太めのお母さんもいます。心のコもつたプレゼント、お母さんの嬉しそうなお顔が見えるようです。贈りものはおもかくとしても、せめて感謝の言葉だけは贈りたいものです。

今回は年長さんの書いた「似顔絵」の中から二十点を紹介してみました。子供たちの素直な気持ちが表われていると思います。

## おかあさんの似顔絵

お母さん名						母親名
園児名						園児名
地区=年齢						地区=年齢
						宮谷 ひとみさん あつこちゃん (仁田之浜=6歳)
						菊池 聖子さん ちえちゃん (中浦=6歳)
						堀田 香代子さん たかゆきくん (仁田之浜=6歳)
						岩佐 美恵さん けいごくん (湊浦=6歳)
						波戸 千枝さん しげるくん (大浜=5歳)
						藤本 好さん かずおくん (大浜=5歳)
						宇都宮 みゆきさん さだむくん (川永田=6歳)
						福田 朋美さん まさみくん (川永田=6歳)
						波戸 祖代美さん たみちゃん (湊浦=5歳)
						加藤 八千代さん ともひろくん (湊浦=6歳)
						清家 三千子さん だいすけくん (仁田之浜=6歳)
						松本 富子さん チエちゃん (湊浦=6歳)
						松下 琴さん えりこちゃん (仁田之浜=6歳)
						平家 玉子さん いよちゃん (加周=5歳)
						大沢 末美さん つかさくん (畑=6歳)
						池田 千奈美さん ひかるくん (奥=5歳)
						玉井 早美さん ひろあきくん (畑=6歳)
						水上 宮子さん ちえちゃん (奥=6歳)
						清家 みどりさん さやかちゃん (亀浦=5歳)
						渡辺 良子さん のりこちゃん (豊之浦=5歳)



## 湊浦に三代目の消防車

第五分団(湊浦)に三代目の消防自動車(白)が配備され三月二十九日に役場前で入魂式が行われました。

昭和四十九年十二月購入の二代目からバトンタッチされた三代目「昇龍号」は、排気量三千六百六十cc、キャブオーバertypeで車体も一回り大きく性能もすぐれており、災害時の活躍が期待されます。購入費は九百四十八万円です。



## 入浴サービス始まる

今年度から寝たきり老人を対象に入浴サービスがスタートしました。

このサービスは、日本テレビから特別養護老人ホーム「青石寮」(保内町)に寄贈された入浴器具乾燥車で、郡内各町(三瓶町を除く)を回り入浴をサービスするものです。

また、車のふとん乾燥機で入浴の間に寝ていたふとんを乾燥させ、湯上りにフカフカのふとんで寝ていただくことができます。

町内では、四月十八日に湊浦の松田浪太郎さんが初めてこのサービスを受けられました。浴槽にのりながら「何年かぶりの幸せな気分」とつぶやく松田さん、顔が楽しくにやにやしていました。

この入浴サービスを希望されます方は町社会福祉協議会(TEL 三八〇二一一)までお尋ねください。

# 民話と伝説

取材先／豊之浦 補作／豊村 豊  
挿絵／山本一路(湊浦)

60

## 庵主さまと地蔵尊

豊之浦

行人を見つめておんなはるがよ。胸には赤い布の前掛をしてもらい、頭には赤い布や、赤い毛糸で編んだ帽子を頂き、手にはお賽銭袋をしっかりと持っておんなはる。

お地蔵さんの後には、六地藏さん(六体の地藏尊)が行儀よく並んでおんなはるがな。どの地藏さんも、真新しい赤い布の前掛を縫ってかけて

今朝こそや、まだ誰もお参りに来ておるまいと思つて、いつもより早く行つたつもりが、またしても、もう誰かがお参りに来て、きれいにそうじをして、打ち水をした後でしとい。奇特な人もいるもんじやのう。

豊之浦の「老人憩いの家」(旧廃寺跡)の女関わきで、このお地蔵さんは、いつも通



草や雑木が生い茂る中で、墓碑(はかいし)が傾いたり、倒れたまま、墓すうじもせず、世にありと人に知られず、一抹の寂しさが思われなければならない。

その墓地の一角に、石積みが高くした一坪ぐらゐはあらかの、これが代々の庵主さまを葬った墓所ですら。誰も世話せんけに、草はぼうぼう

に生えるし、墓石も倒れたまゝですら。墓碑によつては、そろそろ文字の読みとれにくいのもあるがじやがのう。

これは、歸寂心空宜圓上座靈位(享保四(一七一九)巳亥天。これは、歸元即空了機信士(享保廿(一七三五)巳卯。これは、安山鏡庵主(宝暦三(一七五三)西天と。まあ、どうも読みづらいなあ。



協力者：井上千芳氏(豊之浦)

## 県の組織改正について

愛媛県では、「潤いと活力のある愛媛づくり」を基本に、先ごろ策定した長期計画が示す施策を効率よく実行するため、4月1日付けで組織を改正しました。主なものは、下記の表のとおりです。

改正内容
調整振興部「企画調整課」の設置
調整振興部「ふるさと整備課」の設置
農林水産部の課制の大幅改編と「農業基本問題対策班」の設置
総務農政課(旧:総務金融課)
構造改善課(旧:農政課)
農地整備課(旧:耕地課)
普及指導課(旧:農業指導課)
生産流通課(旧:園芸農蚕課)
畜産課(課名変更なし)
森林林業課(旧:林政課)
土木部「水資源開発局」の設置
「第2回全国スポーツ・レクリエーション祭事務局」の設置
総務部人事課の同部「職員課」への改称
総務部同和対策課の県民福祉部への移管及び専任次長の設置
土木部特定事業局の同部「高速交通対策局」への改称
教育委員会事務局への部制導入(「管理部」、「指導部」)
東子保健所の「丹原保健所」への改称(5月15日から)
染織試験場の「繊維産業試験場」への改称

## 学校めぐり

8

### 伊方小学校

校長 米澤利光

## 伝統を継承し 発展を願う

本校は、明治七年「群魚小学校」として設立されてより百十五年の歴史がありますが、その間、群魚(むれな)教育の伝統は「魚が群れ集まるように、子ども達が喜ぶように」に、子ども達が喜ぶように学校に集まってくる。校風として確実を受け継がれています。本年度の目標も伝統を継承して、あたま(知)こころ(徳)からだ(体)のかたよらない成長をめざし、地域に役立つ「群魚っ子」を育てる。と設定し、校訓「正しく、明るく、強く」も継承いたしました。この精神は、教育の神髄で

あり時代がいかに流れようとも、決して変わらないものとして継承されるべき大切なものであると受け止めています。次に発展を願う内容として、臨時教育審議会答申を重視し、「二十一世紀を展望する教育」に目を向けなければなりません。

その第一として、「価値ある多様な豊かな体験をもとに、感性を高め表現力を育てる」を取り上げたいと思います。子どもは、「集団の中で元気づく活動することによって育つ」と言われています。その意味で体験学習はとても大切になってきます。感性とは、喜び、怒り、かなしみ、楽しみなどを感じとる心です。これは、人間らしい心を持つことであると言ひ換えてもよいと思います。豊かな表現力は、体験により感性を高めることを通して身に付くものであると信じております。

第二として、「いかに世の中が変化しようとも、自分の知恵と力でたくましく生きる人間の育成」を上げたと思います。二十一世紀の世の中は、どんなに変わっていくか誰も予測できません。学校では、どのような変化にも対応できる子どもの育成が急務です。では、具体的にどのような子どもを育てればよいのでしょうか。臨教審では、次のような教育を推進していく必要があると答申しています。まず、生涯学習社会へ対応できる、自ら学ぶ意欲・態度・能力を身に付けた子どもを育成する必要があるということです。次に、個性と創造性の伸長をあげています。この教育では「豊かな個性の形成は生きて働く力となる」「基礎・基本をしっかりと身に付ける」「学習の場において子どもの見方、考え方を大切に、判断力を身に付ける」「内面的意欲を育て、学習の仕方を身に付けていく必要がある」等とされています。

小学校児童はまだ小さい子はかりです。「自分から進んで元気づく活動できる児童の育成」とまじめに具体的な教育を推進していきたいと考えています。御協力のほどをお願い申し上げます。

歳時記

ちまき

端午の節句の供え物は柏餅とちまき、という風習はほとんど全国共通のようです。

柏餅は量産しやすいため、5月の節句の時期以外にも出回っていますが、ちまきは手作りで手間がかかるため、節句の時期に限って売店が少なくありません。

一般的ちまきは、餅米を主な材料として、角錐型に形づくり、笹や竹の皮などで巻いたあと、はがれないようにイグサでしばった食品で、せいろうで蒸して食べます。

現在、市販されているちまきの代表的なものには、いろいろちまきや羊かんちまき、くず粉で作った水仙ちまきなどがあります。

また、昔は家で手作りしていたので、地方によってさまざまなちまきが伝統食として生き続けています。



ところでご存じのように、5月5日の「こどもの日」から11日までは児童福祉週間です。

生ゴミ処理容器の種類・価格

Table with 4 columns: 容器の種類, あっせん格, 町補助金, 個人負担金. Rows include ながらコンポ180型 and コンポスター190型.

(消費税込)

昨年度は三百戸余りの家庭で処理容器を購入、この世帯が生ゴミを全て処理容器に投入すると年間五十七トンの搬出量の減量となり金額にして百二十三万円の節約に協力してもらったこととなります。

（容器の使用法）
○日当たりの良い土の部分に土を十センチメートル程度掘り起こし、平らに均らし、てから置いてください。

（補助対象）
○町内に住居する各家庭で一世帯に二個までとする。
○容器の設置場所が確保されているものに限ります。



お礼

福岡県福岡市昭代町二丁目三十五にお住いの西本金次郎さん（中浦出身）から一万円。

まごころ銀行

伊方・町見駐在所
交通事故を防ぐには、毎日の生活の中で一人一人が交通ルールを守り、気をつけることが大切です。

町内の交通事故

(5月1日現在)

発生件数.....27件 (4月...11件)
負傷者数.....9人 (4月...6人)

交通事故を防ぐには、毎日の生活の中で一人一人が交通ルールを守り、気をつけることが大切です。そのために最も大切なことは家族で交通安全について話し合うことです。

平成元年4月1日現在
世帯数2,622戸(-14戸)

人の動き

人口 8,288人 (男4,022人(-31人) (-59人) 女4,266人(-28人))

えんむすび

平成元年3月1日
氏名 本籍地

お誕生おめでとう

平成元年3月1日
保護者 続柄 児名

自衛官募集

自衛隊では、陸上・海上・航空の自衛官を募集しています。応募資格は十八歳以上二十五歳未満の日本国籍を有する身心ともに健全な方です。

家内労働仲間

災害の防止

五月二十一日から三十一日までの間、家内労働者（内職者）の労働条件の向上と家内労働による災害防止に資するため家内労働仲間が実施されています。

おくやみ

平成元年3月1日

死亡者 年齢 住所